

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和5年2月24日

事業所名:児童発達支援事業所きらら館ひろき

保護者等数(児童数) 16

回収数 15

割合 94%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	0	0	0	・少人数での関わりを密に下 さっているため、スペースは丁度良 いと思います。	・子どもの様子や活動内容に応じて、環 境構成への配慮を引き続き行って いく。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	13	0	0	0	・配置数等の詳細が分からない。 ・年度初めの集会で適正人数や資 格を持ったスタッフの方々に関わっ ていると周知されている。	・年度初めの行事の際に職員数や専門性 についての情報を伝えるようにして いる。今後も年度初めや保護者会 の場、個別で 分かりやすく伝えるようにして いく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境 になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の 設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が 適切になされているか	13	1	0	0	・建物内にあまり入ったことがない ので、分からない。 ・本人に分かりやすい構造化された 環境になっていると思います。	・子どもの段階を考慮した上で、行動のしやすさ、分か りやすさに繋がるようパーテーションで環境を区切った り、視覚支援を取り入れたりと、配慮を行っている。ま た、今後も行事や保護者会を通して、館内に入る 機会を設けていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっ ているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっ ているか	15	0	0	0		・清潔な空間で安心して過ごせるよう引き続き 配慮を行っている。 ・感染症によって、室内の温度調整や施設内の消毒、 手指消毒、換気等の感染対策を徹底していく。
適切な支 援の提 供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析され た上で、児童発達支援計画が作成されているか	15	0	0	0		・アセスメントを実施し、保護者と共通理 解を図りながら、ニーズや課題の分析、 児童発達支援計画の作成を行って いく。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライン の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援 (本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支 援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目 が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が 設定されているか	15	0	0	0		・児童発達支援ガイドラインに沿って、引 き続き、個々の発達段階や課題、目標に 応じた支援内容を設定していく。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15	0	0	0		・支援内容や子どもの現状等について、 分かりやすく伝えるよう、丁寧に説明を 行っていく。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている か	15	0	0	0		・子どもたちが楽しみながら、様々な経 験、体験を積み重ねることができるよう、 活動内容を考慮し、実施していく。また、 個々の段階に合った活動内容や対応方 法を行っていく。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害 のない子どもと活動する機会があるか	13	0	0	2	・同敷地内の保育園を利用している ので、そこは良いと思います。	・新型コロナウイルス感染症拡大防 止のため、行事への参加、交流の場等 の機会が少なかったため、今後は機会を 設けていく。
保護者へ の説明 等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなさ れたか	14	1	0	0		・見学時や契約時に運営規定、活動内容、利用料等 について説明を行っている。分かりやすく伝えるよう、丁 丁寧に説明を行っている。不明な点については、その都度 ご質問頂き、回答していく。また、変更点があった際は 迅速に伝達するようにしていく。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供 すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき 作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援 内容の説明がなされたか	14	0	0	1		・個別支援計画について、ガイドラインの 提示と共に、支援内容や目標等について 具体的に説明を行い、同意を得た上で支 援を実施していく。共通理解の基、支援を 実施することができるように心掛けて いく。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・ト レーニング等)が行われているか	15	0	0	0		・保護者からの相談を基に講話を実施し た。特性の理解やかかわり方の学びに繋 がるよう、家族支援を行っていく。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の健康や発達の状況、課題について共通理解がで きているか	15	0	0	0	・コロナという状況下においては、事業所と 保護者の連携や状態の把握というの は文書や伝達のみになってしまうので、個別には 限ります。その中でも課題であったことを 項目に伝えてきたので、とても感謝して います。	・面談やコドモン等を通して、日々の活 動の様子や課題を丁寧に伝え、共通理 解を図っていく。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助 言等の支援が行われているか	14	1	0	0		・面談や日々のやり取りを通して、子どもの様子や課 題、目標等の必要な情報を伝え、相談や悩みについて その都度助言を行っていく。 ・密に情報交換を行い、共通理解を図っていく。 ・行事の中で話せることができる場を設けていく。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等に より保護者同士の連携が支援されているか	12	1	0	0	・保護者会に参加したことがないので、 分からない。 ・保護者同士の関わりについては、 コロナの状況もあり難しいのかなと 思います。	・今年度は行事は予定通り実施するこ とができたが、保護者同士の交流の場を 設けることができなかった。今後は、茶話 会や保護者活動を通して、保護者同 士の連 携の機会を作っていく。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応 の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に 周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ 適切に対応されているか	15	0	0	0		・相談等があった際は、迅速に職員間 で話し合い、その都度丁寧に 対応できるよう、心掛けて いく。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため の配慮がなされているか	14	0	0	1	・先生と話しをする機会が少なく感 じる。	・送迎時や面談、コドモン等を通して、子 どもの様子や支援内容等の情報伝達 ができるよう、配慮していく。送迎時 や行事 の中で直接話しができる機会を設 けていく。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行 事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評 価の結果を子どもや保護者に対して発信されている か	14	0	0	1	・業務に対する自己評価の発信は 見受けられない。	・子どもの様子や活動内容が伝わるよう、引き続きホ ームページやInstagramの更新を行 っていく。 ・業務の自己評価については、職員間 で反省点、改善点を確認し、ホ ームページにて公表している。公 表した際はその旨について保護者に 連絡を行うようにしていく。
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	15	0	0	0		・個人情報の取り扱いについて、十分 な配慮を行っていく。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
非常時等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	13	0	0	2	・策定されたマニュアルの内容が分からない。 ・声掛けやコードモンを使用し、細目に周知していると思います。	・契約時の説明に加え、面談や行事の際を通してマニュアルを閲覧できるよう対応を行っていく。 ・実施の仕方についてその都度丁寧に説明や伝達を行っていく。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	0	0	0	・避難訓練をしたと本人から報告があるので、家でもどうする？と在宅での声掛けにも反映できている。	・年4回火事や地震、土砂災害等の場を想定した避難訓練を実施し、訓練の様子についてコードモンやホームページにて保護者へ伝えていく。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	15	0	0	0	・その日の気分によって変わりますが、きらら館での楽しかった出来事など話してくれます。 ・きらら館でこんなことをしたと楽しそうに話す様子が毎日です。	・子どもたちが楽しいと感じられる充実した支援となるよう個々の段階や気持ちを考慮し、活動を実施していく。
	23 事業所の支援に満足しているか	15	0	0	0	・いつも笑顔で声を掛けて頂けているので、安心してお願いしています。	・子どもたちの経験、体験、学びにつながるよう、発達段階に沿って支援を実施し、達成感や満足感につながるようにしていく。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和5年2月24日

事業所名:児童発達支援事業所きらら館ひろき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・利用人数に対して、十分なスペースを確保し、支援を行っている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・職員数においては、配置基準を十分に満たしている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・安心、安全に過ごすことができるよう、配慮している。 ・写真やイラスト等の視覚的支援教材を用いながら伝えたり、パーテーションを使用して環境を区切ったりし、子どもが活動に集中できるよう、配慮している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・館内の清掃、消毒を実施し、清潔な環境作り心掛けている。	・棚上に物を置かないようし、整理整頓を徹底していく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・業務や支援内容について、目標や改善を定め、その進捗確認や振り返りを行っている。また、改善点を話し合い、その後の業務や支援につながるよう、情報共有している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・保護者等向け評価表を実施し、いただいたご意見を基に改善に取り組んでいる。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・自己評価、保護者向け評価表のご意見について話し合う時間を設け、改善点について検討、周知している。 ・自己評価、保護者向け評価表の結果についてはホームページで公表している。	・公表後、ホームページにて自己評価、保護者向け評価の結果を公表している旨を保護者に伝えるようにしていく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・第三者による外部評価は実施できていない。	・今後は第三者による外部評価を検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・子どもの様子や季節に流行する感染症、世間で頻回に起こっている事故等、現状に合わせて研修内容を検討し、実施している。	・外部講師による研修実施も検討し、職員や支援の質の向上につなげていく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・アセスメントを実施し、子どもの様子や課題、保護者のニーズを踏まえた上で、児童発達支援計画の作成を行っている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・共通したアセスメントシートを使用し、子どもの発達段階や様子の把握に努めている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・児童発達支援ガイドラインから必要な項目を選択し、支援内容を設定している。 ・発達支援、家族支援、地域支援のそれぞれの項目に対し、職員間で意見を挙げながら、支援内容を検討している。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・支援を実施する担当職員がそれぞれの児童発達支援計画を把握し、計画に沿って支援を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・年間計画に沿って活動案を検討し、個々の段階に合ったプログラムを実施している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・年間計画を基に、子どもの現状に応じて活動内容を考慮している。 ・月毎で活動案を立案する職員を交え、固定化しないよう工夫している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	○		・個々の段階や課題に応じて、個別活動、集団活動を組み合わせる計画となるよう配慮している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・支援開始前に活動の目的や内容について周知し、共通理解の上で活動を実施できるようにしている。	・周知が活動開始直前になることがあるため、時間の使い方を考慮していく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・支援終了後、支援内容や子どもの行動について等、職員間で気付いた点や改善点について共有している。	・担当職員間でのやり取りはできているが、全体への周知ができていないことがあるため、職員全体で意見交換したり、共有したりしていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・子どもの様子や課題、活動の目的に対しての反響等、日々の記録をとることを徹底し、気づきや改善点についてケース検討やミーティングを実施している。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・児童発達支援計画作成時期に合わせてモニタリングを実施し、見直しを行っている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		子どもの状況に合わせて、児童発達支援管理責任者や子ども担当職員を参画させ、事業所での様子や課題、目標等について説明している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		子どもに合ったかわり方、情報共有ができるよう、必要に応じて細目に連絡を取り合い、連携を図っている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		現在は対象児童なし。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		現在は対象児童なし。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者に同意をいただき、保育所や幼稚園、認定こども園と児童発達支援計画を共有することで、子どもの課題や目標の把握、統一したかわり方ができるようにしている。	-今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、保育所、幼稚園、認定こども園と相互に活動内容や子どもの様子の見学を実施することができなかった。今後は実施を検討し、より具体的な連携を図っていく。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		連絡会や移行支援シートを活用し、支援内容や子どもの様子について情報共有を行い、安心して就学できるよう努めている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		児童発達支援センター主催の研修、地区の会議、公開保育に参加する中で、児童発達支援センターや他事業所との情報交換を行ったり、連携を図ったりしている。	-地区の会議に参加する回数が少なかったため、今後はより多く参加していく。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、交流の機会が少なかった。	-今後は交流の場や活動を共有したりする場を設けていく。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、参加ができていない。	-今後は積極的に参加を検討していく。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		コモンシート活用、面談の機会を通して、子どもの様子や課題、目標等について親身に伝え合い、必要であれば写真を取り付けたり、情報共有の機会を確保している。フォローアップの機会を通して、情報交換や共有を行っている。	-情報交換、共有を行う機会が少ない保護者もいるため、子どもの様子や支援内容等を伝え合える場を積極的に設けていく。
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		講話の中で、子どものかかわり方や遊び、声掛け等、特徴の理解や学びにつながる場を設けている。		
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		見学時や契約時に活動内容や利用者負担額について説明を行っている。	-分かりやすい説明を心掛けていく。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		保護者へ説明を行い、同意を得た上で支援を実施している。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者からの悩みや相談に対し、面談を実施したり行事の際に情報交換を行ったりし、その都度助言や支援を行っている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会や行事の開催はできたが、保護者同士の連携の場を設けることはできなかった。	-今後は保護者同士の連携、情報交換につながる場を設けていく。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談があった際は、迅速かつ適切に内容について検討し、対応、周知できるよう心掛けている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月の活動予定表を作成し、活動内容や行事、お知らせ等を発信している。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報の取り扱いについては、十分に配慮を行っている。 ホームページ、Instagramへの掲載については、同意を得た方のみ記載している。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		意思疎通や情報伝達のため、視覚的支援を行う等、配慮しながら支援を行っている。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、地域住民の招待等の機会を設けることはできなかった。 丹州活動等の際に挨拶や会話のやり取り等で交流を図ることはできた。	-今後は地域に開かれた事業運営を図っていく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・必要に応じてマニュアルを策定している。 ・火災や地震、自然災害等の場を想定した訓練を実施している。	・マニュアルを周知、閲覧できる機会を設けていく。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・消防署立ち会い訓練を年2回、自主訓練を年2回、計年4回実施している。訓練後、反省、改善点について話し合い、発生時に迅速に対応できるように努めている。	・実施後、保護者にも訓練内容、子どもの様子について伝えるようにしていく。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・服薬についてはコドモンにて確認を行い、予防接種やてんかん発作等の状況については保護者に確認後、周知を行っている。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・保護者へ、医師からの指示を確認し、除去食等の対応を行っている。	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・ヒヤリハット報告書を作成、改善点についてケース検討を実施、共有している。	・周知のみ実施し、改善点についてのケース検討の実施ができていないことがあるため、事故や怪我を未然に防ぐことができるよう、実施していく。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・外部研修への参加、事業所内での研修を実施し、虐待防止、早期発見等の対応に取り組んでいる。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・身体拘束については行っていないが、身体拘束についてのマニュアルを策定し、体制を整えている。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)